

第5回そだつ部会会議録

日 時	2015年11月4日(水) 10:00~12:00
場 所	播磨町地域連携交流施設
テ ー マ	1、参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整
内 容	<p>1、参加メンバー：8名 自己紹介「最近読んだ本」</p> <p>2、協議課題</p> <p>○「支援をつなぐ」について</p> <p>前回の内容確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象は、就学前の3～4才児の保護者 ・東はりま特別支援学校・教育委員会が説明。東はりま特別支援学校の見学も行う ・広報は保育園・幼稚園にチラシの配布。児童発達支援事業所への情報提供 ・福祉グループにおいて、どこにも所属していない人の洗い出しはできない ・目的は、就学に向けた正しい情報を伝える <p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町療育に通っている子の保護者向けのペアレントトレーニング(全5回の中で1回)の中で、教育委員会が播磨町の就学についての説明を毎年している 内容は、学級・学校の違いなどの説明、通級指導など ・特別支援学校・学級の就学の基準があいまいで、最終的には保護者の選択になる ・大まかな就学についての内容で、相談窓口を知るきっかけになればいいのではないか ・保護者が聞きたい事を一番伝えるべきだと思う <p>保護者が聞きたいと思う意見出し</p> <p>支援学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に加配はあるのか ・支援学級の定員は ・支援学級に入るとずっとそこで勉強するのか ・通級指導とはなに?放課後通級とは?どうしたら利用できるのか? ・支援学級から通常学級へ戻ることはできるのか <p>支援学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンツーマンの指導か? ・支援学校での学習内容や取り組み ・コミュニケーションの力を伸ばすため、どんな方針・手順・手法でされているのか(発語のない子ども) <p>違い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級・学校の1日の違い(授業の内容・料金) 写真やビデオなどの映像 ・支援体制の違い ・計画(個別計画支援)・評価(「あゆみ」「通知表)の違いと読みとり方は?高校は「卒業」、小学校・中学校は? ・トイレ指導・介助はあるのか

- ・給食時の指導・介助はあるのか 給食の様子がわかる DVD
- ・進路変更は可能か 特別学級→特別学校 等別学校→特別学級 養護学校→通常学級 (身体あり、知的なし)

就学先選びの基準

- ・学校か学級かの基準・目安があるのか、悩んだ時の考えるポイントは？⇒子どもにとって何が良いのか
- ・就学までのスケジュール
- ・情報のリテラシー
- ・情報の集め方
- ・勉強をさせたいが友達とのトラブルが心配で避けたい。→支援学校に入学させたい
- ・地域の友達と一緒に学ばせたい (同じ幼稚園・保育園の友達と離したくない)
- ・障害をいつ決定するのか？ (まだ決定したくない・決定できない) →教科学習を考えると不安
- ・身辺自立が出来なくても教科学習はできるかも知れない→「かも」をどうやって確かめる？→何年学習すればわかる？
- ・個別教育支援計画にはどんなことが書かれているのか
- ・「あゆみ」「通知表」で何を評価し課題としているのか。読み取り方法

相談窓口

- ・相談窓口の紹介 (教育委員会・東はりま特別支援学校・すこやか環境・福祉グループなど)
- ・相談の利用方法

家庭でできること

- ・家庭で話し合っておくこと、必要があること、しておくこと必要があることは？
- ・兄弟姉妹との関わり (同じ学校か？別の学校か？)
- ・先輩保護者の声 (1 学年上、3 学年上、・・・) (学校でのトラブル→解決方法、行事、友達、勉強など)

日程など

- ・東はりま特別支援学校は3月の行事が多く、3月開催が難しい。1月の行事のない日が希望 →後日、連絡あり
- ・時間は、昼食の時間が良く分かってもらえるのではないかと
→11:30~12:30
- ・見学を11:30からなら、講演が最初のほうが良い

広報について

- ・広報はりまに記事を掲載
- ・保育園・幼稚園の行事を聞く (保育園：福祉グループ、幼稚園：教育委員会)
- ・児童発達支援事業所、相談事業所への周知 (福祉グループ)
- ・保育園・幼稚園へのチラシを配布
- ・はまなす・子育て支援センターにチラシを配布

まとめ

- ・町療育ペアレントトレーニングでの講演内容をもとに教育委員会に最初に説明していただき、そのあとに東はりま特別支援学校の内容を話す
- ・相談場所などの情報を伝える。相談の敷居を低くしたい
- ・1月の小学部の行事のない日で、昼食の時間を見学してもらう

- ・「かけはし」の活用

○「かけはし CAFÉ」について

日程

平成 28 年 1 月 17 日（日） 本人が書く

2 月 10 日（水） 「支援をつなぐ」講演会の参加者に声かけ

- ・ 1 時間は書く 30 分くらいは交流会
- ・ 名札を作る
- ・ 持ってきてもらうもの : 写真 計画相談や個別支援計画などアセスメント

意見

- ・ 東はりま特別支援学校で教育相談を受けるとき、課題を見つけるためにエピソードを引き出す事がある。「かけはし」を書いていたら、教育相談に使えると宣伝できる
- ・ 今後は本人に書いてもらう場を持ったほうがいい

○「かけはし」改編

- ・ 相談支援が入っている人が書く項目が分かるように、印をつける
- ・ 明石市では、事業者向けの講習会がある。支援者が書き方を知る必要がある
- ・ 書き方のポイントなどがあつたらいいのではないか
- ・ エピソード、自由記載があつたらいい
- ・ 学校連絡帳のコピーを貼るところがあつたらいい
- ・ チェックか自由記載か、どちらにするのか
- ・ チェックにすると、すべての項目を読まないといけない
- ・ 詳しく聞こうと思うと、情報が膨大になる
- ・ チェックの付け方の説明がないと分からないのではないか
- ・ 資料もあつたらいい
- ・ 子供の事を気づくきっかけになればいいのではないか

まとめ

次回から、項目を細かく見ながら、書くポイントや相談支援が入っていたら書かなくていい項目の洗い出しをする

○正確な情報の伝達

そだつマップ調査票の内容

- ・ 食事 提供あり（料金 ） 無（弁当持参 可 不可）
- ・ 連絡ノート 有 無
- ・ 協力の医療機関 有（ ） 無
- ・ アクセス 玄関 有 無
階段 有 無
送迎 有（自宅 バス停） 無
- ・ 長期休暇（学校休日）の利用時間
- ・ 警報時の対応 有 無
- ・ 感染症時の対応 有 無
- ・ 利用対象と現在の状況は、分けるべき

現在のランチ会の状況

- ・来年1月ぐらいから、調査をしてもらう予定
- ・対象は播磨町周辺（近い所から）
- ・現在は、マップに位置だしをしている

3、その他

○くらす部会 宿泊体験 参加者 6名

○はたらく部会 はたらく現場見学会（エスコアハーツ）参加者 25名

第2回はたらくみんなのお茶会：平成28年3月6日（日）10：00～

○第2回推進会議・全体会：平成28年2月26日（金）

内容：障がい者の高齢化とその対応について

講師：関西福祉大学 谷口泰司氏

4、次回開催日の調整

平成27年12月9日（水）10：00～12：00

場所：地域連携交流施設